

佐賀大学附属図書館
自己点検・評価報告書
令和元年度

令和 2 年 12 月

佐賀大学
学術研究協力部情報図書館課

目 次

I	附属図書館の目標・計画	1
II	附属図書館の概要	3
III	領域別評価	
1	教育支援	4
	(1) 資料の計画的収集	
	(2) 資料の提供・活用	
	(3) 情報リテラシー教育支援（図書館オリエンテーション）	
	(4) 学外図書館からの文献入手（図書館間相互貸借 ILL:Inter Library Loan）	
	(5) 読書奨励	
	(6) 自学自習環境の整備	
	(7) 広報	
	(8) 評価及び課題	
2	研究支援	9
	(1) 研究用資料の収集	
	(2) 電子ジャーナル	
	(3) 文献等データベース	
	(4) 研究情報・文献情報の電子化	
	(5) 評価及び課題	
3	社会貢献	10
	(1) 市民への情報サービス	
	(2) 公開講座（講演会、展示会）	
	(3) 地域資料の収集	
	(4) 貴重資料の利用	
	(5) 実習・研修生の受け入れ	
	(6) 評価及び課題	
4	組織運営	13
	(1) 組織の編成・管理運営	
	(2) 財務	
	(3) 評価及び課題	
5	施設・設備	15
	(1) 施設、設備等の整備状況	
	(2) 施設、設備等の利用状況	
	(3) 評価及び課題	

I 附属図書館の目標・計画

【資料】第3期中期目標期間における部局の計画等

1 第3期中期目標期間（平成28年度～令和3年度）における目標及び計画

附属図書館は、本学の行う教育、研究に関わる学術情報を収集・蓄積し、効率的に提供する。また、学生の自発的な学修・研修を実施するラーニング・コモンズ施設を整備し教育の質的転換を推進すると同時に、学生の就職活動、本学に在籍している外国人留学生及び海外に留学する学生支援などのため、体系的かつ網羅的に図書館資料を収集し、情報ネットワークを整備して、より効果的な学修環境を提供する。さらに、本学の社会貢献のひとつとして、地域に開かれた生涯学習の活動を推進して行く。

（１）教育に関する目標・計画

【目標】

教育の質的転換を推進するために、学生及び教員の自発的な学修・研修を実施するラーニング・コモンズ施設などを整備し活用する。また、学生の就職活動を支援するため、キャリアセンター等と連携して、関連する図書館資料を整備する。（第3期中期計画番号8及び17に該当）

【計画】

- 1) ラーニング・コモンズの利用状況を調査し、効果的な利活用を促進する。
- 2) 学生の就職活動を支援するため、キャリアセンター等と連携して関連する図書を附属図書館に整備する。

（２）研究に関する目標・計画

【目標】

研究成果の社会への還元に関する具体的方策を講じる。（第3期中期計画番号22に該当）

【計画】

研究成果の社会への発信を支援するため、本学の研究成果を機関リポジトリに登録して情報発信する。

（３）社会との連携や社会貢献及び地域を志向した目標・計画

【目標】

教員養成系学部の卒業生に占める教員就職に関する支援を行う。（第3期中期計画番号36に該当）

【計画】

教員を目指す学生の学修支援のため、教育学部等と連携して関連する図書を附属図書館に整備する。

（４）グローバル化に関する目標・計画

【目標】

交換留学生や短期留学生の受入れ及び海外留学派遣者数を増加させるため支援を行う。（第3期中期計画番号39及び40に該当）

【計画】

- 1) 外国人留学生を支援するため、国際交流推進センター等と連携して、外国人留学生向けの関連する図書を附属図書館に整備する。
- 2) 本学学生の海外留学支援のため、国際交流推進センター等と連携し、学生の海外志向に関する図書を附属図書館に整備する。

（５）附属病院に関する目標・計画**【目標】**

看護師の教育制度を充実し、地域医療を支える良質な医療人を育成する。（第３期中期計画番号 47 に該当）

【計画】

看護学継続教育を支援するため、看護学教育研究支援センターと連携して、図書館利用を促進する。

（６）経費の抑制に関する目標・計画**【目標】**

人件費以外の経費を抑制するため、光熱水等の使用量を第２期中期目標期間の最終年度より３％削減する。（第３期中期計画番号 63 に該当）

【計画】

平成 30 年度実績を踏まえ、光熱水等の経費削減目標を設定し、管理的経費を削減する。

（７）法令遵守等に関する目標・計画**【目標】**

大学活動全般、学内規則を含めた法令遵守に関する啓発活動等に取り組む。（第３期中期計画番号 71 該当）

【計画】

附属図書館本館および医学分館において、災害、事故等に備えるために防災訓練等を実施する。

Ⅱ 附属図書館の概要

【資料】Ⅱ-1 蔵書数、Ⅱ-2 図書受入冊数、Ⅱ-3 雑誌受入種類数、Ⅲ-1-2 電子書籍導入状況 Ⅲ-2-1 電子ジャーナル導入状況、Ⅲ-2-3 文献等データベース、Ⅲ-5-1 面積・閲覧 座席数・書架収容力

附属図書館は、教育学部（文化教育学部）、芸術地域デザイン学部、経済学部、理工学部、農学部がある本庄キャンパスに本館、医学部がある鍋島キャンパスに医学分館を配置する。

（１）施設・設備

本館は、鉄筋４階建てで総面積 5,332 ㎡である。ラーニング・コモンズ、閲覧室、閲覧個室、グループ学習室、マルチメディアコーナー等の利用者用スペースと、会議室、事務室等の管理スペース及び書庫等を有する。１階から３階が利用者用スペースとなっている。利用者用スペースには座席 629 席を備え、学内 LAN に接続された端末を 74 台、及び情報コンセント等、ネットワークを利用した学修環境を整備し、学生及び研究者の学修、研究の能率向上を図るよう配慮している。

本庄キャンパスには本館建物の他に旧館書庫 332 ㎡を有する。

医学分館は、鉄筋２階建てで総面積 1,769 ㎡である。座席 192 席を備え、利用者用として学内 LAN に接続された端末 62 台を配置するとともに、図書等の蔵書構成、配置等について十分に検討し、自学自習が効率よくできるよう配慮している。

両館とも設備・備品として、退館管理システム（BDS）、図書自動貸出返却装置、全館冷暖房設備、エレベータを備えている。また、館内では、パソコン・視聴覚機器を設置している席を除き、密封できる容器に入った飲み物の飲用を認めている。

（２）図書館資料

本庄キャンパスでは、図書（視聴覚資料を含む、以下同じ）は、教育研究組織・教育課程に即し、医学・看護学を除いたほぼ全分野にわたる資料 568,178 冊を所蔵している。内訳は、和書 401,244 冊、洋書 166,934 冊である。

雑誌は、人文・社会・自然各分野にわたる国内外の学術雑誌、大学論集、紀要等合わせて 9,521 種類を所蔵する。また、附属図書館閲覧室に配架の学習用雑誌は、学術雑誌から就職に関わる受験雑誌等まで幅広く収集し、提供している。

医学分館では、図書は、医学・看護学を中心に 116,182 冊を所蔵している。内訳は、和書 70,007 冊、洋書 46,175 冊である。雑誌は、医学・看護学関連雑誌を中心に一般教養雑誌を含め約 2,363 種を所蔵している。図書・雑誌ともすべて開架書架に配架し、提供している。

また、全学で利用できる電子的資料として、文献等データベース 10 種及び、主要出版社の電子ジャーナルをはじめとして全 5,378 種の電子ジャーナル、19,146 点の和書・洋書の電子書籍へのアクセスが可能となっている。

Ⅲ 領域別評価

1 教育支援

(1) 資料の計画的収集

【資料】Ⅱ-1 蔵書数、Ⅱ-2 図書受入冊数、Ⅱ-3 雑誌受入種類数、Ⅲ-1-2 電子書籍導入状況、Ⅲ-1-3 電子書籍アクセス数、Ⅲ-1-4 図書除籍冊数

本館

①資料費の確保

教育・学修支援を使命とする附属図書館では、学生用図書、電子情報資料等（以下、学生用資料）の資料費の確保は最も重要な課題の一つである。資料費は法人化直前に大学の経常経費として認定され、法人化後は図書館への基本予算として計上されている。

②学生用資料の選定と収集

学生用資料は、本学教員と図書館職員で構成する附属図書館選書専門委員会で購入計画を立案し、計画的に収集を行っている。

学生リクエストの活用や学生選書の実施、就職支援や留学支援等、関係部署と連携しての選書等、様々なニーズに対応する取り組みを行いながら、学生用図書の整備に努力している。

③シラバス掲載参考書

学習用図書として特に重点的に収集を図る必要がある資料として、シラバスに掲載されている参考書がある。新年度当初にシラバス掲載参考書を利用できる状態にするには前年度内に資料を購入し整理しておく必要があり、教員、学務部の協力によるシラバスの早期登録、シラバス中の図書情報の体系的な抽出により実現している。

令和元年度は、参考書の指定があった全科目について発注し、141冊購入した。

④学生希望図書

学生が図書館で読みたい図書をリクエストできる「学生希望図書制度」を Web システムで運用している。リクエストされた図書は館内で審議を経た後、購入する。図書館利用オリエンテーション等において「学生希望図書制度」について積極的に広報を行っており、令和元年度は 97 冊購入した。（後述する図書館サポーターが選書した図書を含む。）

⑤図書館サポーター学生（さらりーず）が選書した図書

読書奨励企画として、本館及び医学分館の蔵書構築作業の一部に学生が参加できる図書館サポーター学生グループを組織し、「学生選書ツアー」を実施している。選書し購入した図書は、図書館入口に近い場所に特設コーナーを設置して配架している。図書館の中でも人気のコーナーになっており、貸出利用も多い。

⑥佐賀大学の年度計画実施に関連する図書の収集

令和元年度は、学生の就職活動支援のため、キャリアセンターと連携して就職活動に関連する図書 101 冊、教育学部生を主とする教職を目指す学生のため、教育学部と連携して教職に関連する図書 50 冊、本学に留学してくる外国人留学生支援のため及び本学学生の海外留学支援のため、国際交流推進センターと連携して関連する図書を 174 冊整備した。

⑦電子書籍

学生の自学自習支援を整備方針の中心に据え、自宅等からの利用やラーニング・コモンズでの

利用を考慮して、和書の辞書事典類、入門書等を中心にした整備を行っている。

⑧資料の除籍

書架の利便性の向上を図るため、旧版図書や受入後一定年数経過した図書を書架から除き、除籍を行った。

⑨蔵書点検

適切な図書資産管理体制を構築するため、令和元年度に蔵書点検計画を策定し、複数年で蔵書を一巡点検するよう改善を図っている。令和元年度は計画に基づいて該当図書の点検を実施した。また、不明図書を除籍する際の運用ルールを策定した。

医学分館

医学分館における研究用及び教育用の図書・雑誌の整備は、医学部教員で構成される医学分館運営委員会で検討を行っている。医学部のシラバスに掲載された参考書はすべて収集しているほか、医学部教員等に図書の推薦を依頼している。学生リクエストの活用や学生選書の実施により、学生目線の選書にも留意している。

また、医学・看護学という専門の性格上、常に最新版の資料を収集するよう留意している。所蔵する専門図書、参考書の改版・新版等を積極的に収集するとともに、改版等や年月の経過により利用価値を減じた図書を除籍し、書架の活性化に努めている。

（２）資料の提供・活用

【資料】Ⅲ-1-1 利用対象者数、Ⅲ-1-5 開館時間、Ⅲ-1-6 年間開館日数等、Ⅲ-1-7 入館者数
Ⅲ-1-8 貸出条件、Ⅲ-1-9 館外貸出状況

１）開館時間等

本館

利用状況の調査や学生の利用アンケートに基づき開館時間の最適化を図り、資料Ⅲ-1-5 のとおり開館している。

医学分館

利用状況の調査や学生の利用アンケートに基づき開館時間の最適化を図り、資料Ⅲ-1-5 のとおり開館している。

平成 26 年度からは、朝 6 時から 8 時 30 分までの早朝開館を試行し、平成 28 年度から本運用している。また、学生の多くが実習後の夜間開館時間の延長を要望したため、運営委員会等で検討した結果、平成 28 年 8 月 26 日に入館方式を磁気カードから IC カード対応の扉錠システムへ改修設置し、平成 28 年 10 月 11 日から平日限定で夜間の無人開館（21 時 00 分から 23 時 30 分）を試行で運用している。

２）貸出条件等

本館

利用状況の調査や学生の利用アンケートに基づき貸出条件等の最適化を図り、資料Ⅲ-1-8 のとおり運用している。

医学分館

利用状況の調査や学生の利用アンケートに基づき貸出条件等の最適化を図り、資料Ⅲ-1-8 のと

おり運用している。

3) 入館者数・貸出冊数

本館

令和元年度の入館者数は、開館日数の減を考慮しても減少数が大きい。貸出冊数は、平成 28 年度以降減傾向にある。

医学分館

令和元年度の入館者数は減少しているものの、近年の 1 日平均と比べ少なくなく、開館日数の減によるものと考えられる。令和元年度の学生の貸出冊数が大きく減少している。

(3) 情報リテラシー教育支援（図書館オリエンテーション）

【資料】Ⅲ-1-10 オリエンテーション実績（本館）

本館

毎年 4 月中旬から 5 月末を中心に、授業担当教員の依頼により指定された授業時間を使用して「図書館オリエンテーション」を行っている。初級コースと中級コースを用意しており、初級コースは基本的な図書館の利用案内、中級コースは電子ジャーナルや文献データベース等の利用方法等の説明を行ってきた。平成 28 年度から、初級コースをアクティブ・ラーニング（能動的学修）の手法を取り入れた内容に改め実施した。また、中級コースでは従来の内容に加え、教員の要望に応え、テーマを設定し文献や新聞記事を調査するオリエンテーションを実施した。

医学分館

毎年 4 月、医学部の新入学生（医学科、看護科、編入生、大学院修士課程学生）を対象に「図書館オリエンテーション」を行っている。新入生に対しては担当教員の協力により情報基礎演習などの授業時間を利用して行っている。大学院博士課程の学生を除いてほぼ全員が受講している。

(4) 学外図書館からの文献入手（図書館間相互貸借 ILL : Inter Library Loan）

【資料】Ⅲ-1-11 図書館間相互貸借冊数、Ⅲ-1-12 図書館間の文献複写件数

本学は国立情報学研究所の NACSIS-ILL システムを利用しているが、同システムの報告では国立大学全体で利用件数が減少している。これは各国立大学が電子ジャーナル・パッケージを導入したために、各大学で読むことのできるタイトル数が飛躍的に増えたことによる影響と考えられる。本学においても、文献複写や図書の貸借件数が依頼、受託とも減少傾向にある。

しかしながら、世界的な発表文献数の増加も手伝い、入手の難しい文献についての取り寄せ依頼の割合が増えているため、また、冊子の所蔵調査に留まらず、電子ジャーナルとして公開されていないか調査を行う必要があるため、処理件数の減少は業務量の減少には直結していない。

(5) 読書奨励

1) 図書館サポーター学生（さらりーず）の活動

本学では、平成18年度から、学生選書委員の学生を公募し、選書を中心とした読書奨励の活動を行ってきた。平成27年度には、名称を「学生選書委員」から「図書館サポーター（さらりーず）」へ変更し、従来の選書活動を継続しつつ、読書奨励を目的とした図書館活動を企画・実行した。

令和元年度は、本庄キャンパス、鍋島キャンパスから合計10名の学生が参加し、学生選書ツアーを行った。

また、医学分館では随時図書館サポーターミーティングを行い、資料のテーマ展示を行った。

2) 図書のテーマ別展示

所蔵図書の可視性を高め利活用を促進することを目的に、時期や季節に合わせた図書等のテーマ展示を行った。また、学部学生・院生が授業で作成した作品や報告書を展示し、関連する所蔵図書の展示を合わせて行った。

3) 大学事務職員による選書、展示

学生の読書奨励のため、佐賀大学の若手事務職員に「大学生におすすめしたい本、大学時代に読んでよかった本」の推薦を依頼し、推薦図書の紹介用 POP とともに展示する企画を実施した。

(6) 自学自習環境の整備

【資料】Ⅲ-5-1 面積・閲覧座席数・書架収容力、Ⅲ-5-2 図書館利用者用端末台数 Ⅲ-5-3 アクティブ・ラーニング・スペース、Ⅲ-5-4 グループ学習室の設備

本館

利用者の多様な学習スタイルに対応するため、グループ学習室5室、閲覧個室4室、マルチメディアコーナーを設置している。また、総合情報基盤センター内演習室と同じ環境で利用できる利用者用端末を58台、閲覧検索専用端末を16台設置している。

平成30年度には、平成29年度の「学生生活実態調査」に示された利用者からの個別学習スペースへの要望に対応するため、2階、3階の閲覧机の一部に、個別学習スペース確保を目的として十字型の仕切りを設置した。令和元年度には、学部1年生を対象とした「図書館利用アンケート」の結果を受け、個別学習スペース増席のため、閲覧机への仕切りを増設した。

医学分館

利用者の多様な学習スタイルに対応するため、ビデオ・スライド室2室、LL室、多目的学習室を設置している。多目的学習室には可動式の机・椅子を配置し、ラーニング・コモンズとして活用できるように整備している。また、総合情報基盤センター内演習室と同じ環境で利用できる利用者用端末を60台設置している。

(7) 広報

【資料】Ⅲ-1-13 図書館 Web ページのアクセス数

1) Web サイト

図書館 Web サイトを開設して、図書館利用に関する各種案内、利用者用オンライン蔵書目録(OPAC: Online Public Access Catalog)等のサービスを行っており、サイトの利用状況を把握し改善に役立てられるようにアクセス解析の仕組みを取り入れている。図書館 Web サイトへのデバイス毎のアクセス割合では、PC 以外(モバイル)からのアクセスが年々増加しており、令和元年度は全体の49%を占めている。次期の図書館システム改修時期に合わせ、PC 以外(モバイル)のデバイスに対応した Web サイトを構築する予定である。

2) 広報誌

利用統計や図書館の活動報告等の広報・記録媒体として図書館報「ひかり野」を年1回刊行している。また、学生をターゲットにした情報誌「さらり」を年1回発行している。

3) 電子メールの配信等

教職員向けに講演会の開催案内、データベース・トライアルの案内、臨時休館等、図書館サービスの案内を電子メールにより配信している。学生向けには、学生ポータルシステムを使って電子メールの配信や、お知らせの掲示を行っている。

4) マスメディアの利用

市民に対する図書館利用の広報活動として、附属図書館の様々な企画について地元メディアを中心に掲載・放送を要請するとともに取材を積極的に受け入れている。

5) マスコットキャラクター

利用者に図書館を身近に感じてもらうことを目的に、佐賀大学内に生息する野鳥であるカササギをモチーフに作成したキャラクター（「らいぶくん」と「らりいちゃん」）を制作した。利用者に配布する情報誌「さりり」、葉やブックカバーにプリントされるかたちで活躍している。

6) SNS

ツイッターを利用し、新刊本の入荷、資料の配架案内、イベントなどの情報を発信している。また台風による臨時閉館など緊急情報を広く周知する場合にもツイッターで発信している。

7) 図書館外での広報

図書館利用促進のための、三角柱のPOPを作成し、学内食堂へ配置した。

(8) 評価及び課題

1) 評価する点

・資料の計画的収集

教員と図書館職員で構成された附属図書館選書専門委員会による審議に基づき、教員による推薦や図書館推薦、学生リクエスト等、多様な視点からの選書を行うとともに、年度計画に基づいて就職支援、外国人留学生及び海外派遣学生を支援する図書等の選書を関係部署と連携して行っており、限られた予算内で様々なニーズに対応した資料を整備していることは評価できる。

・資料の提供・活用

分館で看護学教育研究支援センター所属の看護師に医学・看護学の専門書の貸出及び文献複写取寄せサービスを提供していることは、地域医療を支える良質な医療人育成に繋がるものとして評価できる。

・情報リテラシー教育支援（図書館オリエンテーション）

本館では、初級コースの方法をアクティブ・ラーニング（能動的学修学習）の手法を取り入れた内容で実施し、学生から概ね好評を得ており、効果的な取組であったと判断できる。なお、講師担当が特定の職員に偏らないよう配慮し、業務負担の分散を図った。中級コースは、件数は少ないものの教員の要望に応え、テーマを設定して文献や新聞記事を調査するオリエンテーションを実施できたことも評価できる。

分館では、医学の専門分野に特化した内容とし、学部学生のほぼ全員の参加を得て実施していることは、評価できる。

・読書奨励

本館、分館共同で学生を募集して学生選書ツアーを行い、学生目線からの選書を行った。また、本館、分館ともに、所蔵図書の利活用促進を目的に図書等のテーマ展示を行った。また、大学職員による選書・展示を行った。学生の利用促進に向けて、これらのイベントを開催したことは評価できる。

・ 自学自習環境の整備

個別学習スペース増席のため、閲覧机への仕切りを増設したことは、令和元年度の「図書館利用アンケート」に示された学生からの個別学習スペースへの要望に対応するものであり、評価できる。

・ 広報

SNS を使い積極的に図書館の様々な情報を発信し、学生への広報を強化するために、学生ポータルシステムを使って電子メールの配信やお知らせの掲示を行ったこと、また、学内食堂に広報用三角 POP を配置するなど、広報に努めた点は評価できる。

2) 課題

・ 貸出冊数

本館・分館の貸出冊数の調査を継続し、利用促進の対応を図るとともに、来館しない利用者へサービスも検討する。

2 研究支援

(1) 研究用資料の収集

図書、学術雑誌その他の教育研究上必要な資料は附属図書館長の管理下に置き、附属図書館、学部、センター等に配置している。

資料の有効利用のため、附属図書館では図書、学術雑誌、電子ジャーナル等すべての資料を包含した蔵書データベースを維持管理し、所蔵・配置等の最新情報を Web 上で公開して利用の便を図っている。

本庄キャンパスの図書配置割合は、附属図書館約 80%、部局等約 20%である。学術雑誌は、附属図書館に農学・理工系学術雑誌を集中的に配架し、利用に供している。一部の学部等では、学部や学科等の単位で図書資料室を置き、専門領域に関する図書・雑誌をはじめ国内外の大学論集・紀要等を収集配架している。

鍋島キャンパスでは、旧医科大学時代から全図書、全雑誌を医学分館に集中配架し、教員、学生・院生の研究及び教育に供している。

(2) 電子ジャーナル

【資料】Ⅲ-2-1 電子ジャーナル導入状況、Ⅲ-2-2 電子ジャーナルアクセス数

令和元年 5 月～6 月に、本学教員に対して電子ジャーナル整備検討に関するアンケートを実施した。アンケート結果を踏まえ、令和 2 年度にシュプリングerpパッケージ、ネイチャー本誌を継続契約することを決定した。

なお、エルゼビアパッケージは平成 30 年度から 3 年契約を行っている。

(3) 文献等データベース

【資料】Ⅲ-2-3 文献等データベースサービス

中央経費により契約しているスコーパスは、平成 29 年度の電子ジャーナル等検討専門委員会、附属図書館運営委員会の議論に基づき、平成 30 年度からの 3 年契約を行っている。

（４）研究情報・文献情報の電子化

【資料】Ⅲ-2-4 佐賀大学機関リポジトリ登録数及び閲覧数

「佐賀大学機関リポジトリ」は紀要論文、博士論文を主として収集している。紀要論文の多くは、登録時の著作権処理について各部局との交渉を進め、包括許諾を得、刊行のたびに著作権処理をすることなく登録可能であり、継続して登録を進めている。

学会誌論文や商業誌論文についても機関リポジトリへの登録を進めるため、本庄キャンパスの学部等教員に協力依頼を行った。

（５）評価及び課題

１）評価する点

・電子ジャーナル

電子ジャーナル等検討専門委員会、附属図書館運営委員会の議論に基づき、中央経費により契約している電子ジャーナルの令和２年度の契約内容を決定したことは評価できる。

・研究情報の電子化

学会誌論文や商業誌論文についても機関リポジトリへの登録を進めるため、本庄キャンパスの学部等教員に協力依頼を行ったことは評価できる。

２）課題

・電子ジャーナル及び文献等データベース

令和３年度以降の導入方針を決定する必要がある。

３ 社会貢献

（１）市民への情報サービス

【資料】Ⅲ-3-1 市民への貸出状況

１）閲覧・貸出サービス

市民への閲覧・貸出サービスは、本館、分館ともに年齢制限や居住地制限なしで実施している。市民への資料貸出は、本館は館内資料のみ、医学分館は一般教養関係資料のみを対象に貸出を実施している。

２）文献複写サービス

本館にはプリペイドカード式複写機及びコイン式複写機、分館にはコイン式複写機を導入しており、著作権の範囲内で複写サービスを行っている。

３）検索サービス

本館では、一般市民も利用できる蔵書検索用端末を３台設置している。医学分館では、情報検索等を目的とした２台の端末が利用可能である。

４）施設利用

本館では、学生教職員の利用に支障のない範囲でグループ学習室も利用できるようにしている。

5) 佐賀県内図書館等との文献複写・相互貸借サービス

本館・医学分館ともに公共図書館等からの依頼に応じ、文献複写・相互貸借サービスを行っている。医学分館は近隣の病院図書室等からの依頼にも応じている。

相互貸借は『佐賀県公共図書館と佐賀県大学図書館間の相互貸借規程』に基づき運用している。

6) 佐賀県内図書館横断検索システム

佐賀県立図書館、県内の市町村立図書館及び県内の大学図書館の所蔵図書を横断的に検索できる佐賀県内図書館横断検索システムに参加し、県内の図書館と一体となった地域への蔵書検索サービスの提供を行っている。

7) 看護学教育研究支援センターとの連携

平成28年度から年度計画の取り組みとして、看護学教育研究支援センター所属の看護師に対して、指導教員と連携して利用者登録の申請手続きを案内し、医学・看護学の専門書の貸出及び文献複写取寄せサービスの試行を行っている。

(2) 公開講座(講演会、展示会)

【資料】Ⅲ-3-2 図書館月間講演会 Ⅲ-3-3 図書館月間展示会

附属図書館では、市民に生涯学習の場を提供することを主目的として、毎年11月を「図書館月間」と称して、講演会、貴重資料展示等を行っている。

市民への広報は、マスコミへの情報提供、県内の公共図書館やテーマに合致する関係機関等へのポスター貼付・チラシ配布による案内の依頼、過去の講演会参加者への案内文書の送付等で行っている。

1) 図書館月間

「旧制佐賀高校・師範学校アーカイブズ～佐賀大学のルーツを知る～」と題し、旧制佐賀高校・師範学校で使用されていた資料、図書を展示した。

2) 他部局との共催企画の実施

芸術地域デザイン学部と共催で「親子で石こう版画に挑戦！テラリウムをえがこう！」のイベントを開催し、小学生から中学生の子どもたちによる石こう版画の作成を行い、完成した作品を図書館で展示した。

(3) 地域資料の収集

【資料】Ⅲ-3-4 附属図書館所蔵コレクション

地域学歴史文化研究センターや総合情報基盤センターと連携しながら、小城鍋島文庫資料や市場直次郎コレクションの電子化を行い、ホームページで公開している。

(4) 貴重資料の利用

【資料】Ⅲ-3-5 貴重資料の利用

1) 貸出

毎年、地域学歴史文化研究センターと佐賀県小城市教育委員会の共催で開催される企画展等に貴重資料を貸し出している。

令和元年度は、以下のとおり貴重資料の提供を行った。

- ・佐賀大学美術館の展示会「佐賀の近代日本画」に、市場直次郎コレクションから「古川松根 大黒天図」ほか2点を貸し出した。

- ・佐賀大学美術館の展示会「鍋島元茂一父を支え、小城を領す」に、小城鍋島文庫から「鍋島直茂書状」ほか5点を貸し出した。
- ・地域学歴史文化研究センターと小城市教育委員会共催の展示会「京の雅と小城藩」に、小城鍋島文庫から「直能公御年譜」ほか40点を貸し出した。

2) 画像データの利用

地域学歴史文化研究センターと大学共同利用機関法人人間文化機構国立歴史民俗博物館の協力協定に基づく研究成果である「小城藩日記データベース」を、附属図書館ホームページから公開している。

3) 貴重資料の展示、講演会

「貴重資料コレクション展」と題し、市場直次郎コレクションの扇面の複写、洋学資料コレクションの展示を行った。また、「和と洋の多彩な世界」と題し、大内文庫、小城鍋島文庫の資料の展示を行い、講演会を開催した。

4) 貴重資料の保存

貴重資料を長期保存、利活用していくために、除湿機の新規設置、空調機の更新等を行った。また、貴重資料の保存に関する研修を開き、図書館の全職員が受講した。

(5) 実習・研修生の受け入れ

実習・研修生の受け入れを行った。貸出などのカウンター業務や配架業務だけでなく、利用者の立場からは見えにくい図書の発注・受入・目録・装備といったバックヤードの業務の体験も盛り込み、図書館業務の全体を見ることができた内容とした。

実績

教員研修（企業・福祉施設等体験研修）：教諭2名（8月5日（月）、8月7日（水））

職場体験：中学生3名（12月17日（火））

(6) 評価及び課題

1) 評価する点

・市民への情報サービス

本館、医学分館ともに市民への閲覧・貸出サービスを年齢や居住地制限なしで実施していることは評価できる。また、県内図書館間の相互貸借システムや横断検索システムに参画することにより市民へのサービスを行っていることは評価できる。

・公開講座の開催

他部局と共催し、市民向けの企画を実施したことは評価できる。

・貴重資料の利用

貴重資料の展示、講演会、貸出を行い、利活用に努めたことは評価できる。

・貴重資料の保存

貴重資料を長期保存し活用していくために、除湿器の新規設置、空調機の更新等を行い、貴重資料の保存環境を整備したことは評価できる。また、貴重資料の保存に関する研修を開き、図書館の全職員が受講したことは評価できる。

4 組織運営

(1) 組織の編成・管理運営

【資料】Ⅲ-4-1 附属図書館組織・機構図

1) 館長・副館長

附属図書館は、平成 30 年 4 月に現在の館長、副館長制で諸般の課題解決に当たることとした。

図書館長は、附属図書館の業務を掌理し、附属図書館に設置した各種委員会の委員長として審議の取りまとめを行うとともに、学内の教育研究評議会等の委員として大学の管理運営に参画している。

2) 運営委員会

①附属図書館運営委員会

平成 16 年 4 月の法人化後、佐賀大学図書館規則第 5 条第 1 項の規定に基づき、佐賀大学附属図書館運営委員会を設置した。医学分館には、佐賀大学図書館規則第 6 条第 2 項に基づき附属図書館医学分館運営委員会を設置した。

佐賀大学附属図書館運営委員会は、附属図書館の運営方針、諸規程の制定・改廃、予算等に関する重要事項を審議する組織で、附属図書館長（委員長）、副館長、及び各学部から選出された教員 6 人、総合情報基盤センター長、全学教育機構副機構長、総括担当理事の合計 11 人とオブザーバーとして参加する学術研究協力部長で構成されている。また、附属図書館運営委員会の下に、附属図書館運営委員会から付託された事項の審議を行う専門委員会を設置している。

②附属図書館医学分館運営委員会

附属図書館医学分館運営委員会は医学分館の運営、諸規程の制定・改廃、予算等に関する事項を審議する組織で、副館長、医学部選出の附属図書館運営委員、医学部等鍋島地区の教員 4 人の合計 6 人で構成されている。

3) 専門委員会

①選書専門委員会

選書専門委員会は蔵書整備、学生用図書の収集、その他の図書館資料の選定収集に関することを掌る。

②貴重資料・地域貢献専門委員会

貴重資料・地域貢献専門委員会は、附属図書館所蔵の貴重資料の保存・公開・展示等及び附属図書館の地域貢献事業に関することを掌る。

③評価専門委員会

附属図書館の自己評価、中期目標・中期計画評価及び認証評価等に関することを掌る。

④電子ジャーナル等検討専門委員会

電子ジャーナル及び文献データベースの契約内容、経費負担の在り方等に関することを掌る。

4) 事務組織

【資料】Ⅲ-4-1 附属図書館組織・機構図 Ⅲ-4-2 附属図書館職員数

附属図書館の事務組織体制は、法人化後、人件費等管理運営経費の抑制及び効率的な大学運営による事務組織再編等により、令和元年 4 月現在では、情報図書館課長、副課長、総務主担当、図書・雑誌主担当、利用サービス主担当及び医学分館主担当の体制となっている。

5) 事務処理の効率化

研究用資料の購入依頼受付を Web ベースのシステムで行い図書館システムにデータとして取り込み、購入依頼受付から発注処理、発注状況の管理等を合理化している。また研究用資料の購入依頼時に必要となる財源の管理を、財務会計システムと図書館システムを連携させることにより効率化している。

他大学の紀要論文のうち、本文が機関リポジトリ及び CiNii で公開されているものは保存せず、書架狭隘化への対応及び業務の削減を図っている。

6) 危機管理

医学部で実施された大規模地震対応消防計画に基づく災害訓練に、医学分館の職員が参加した。

7) 職員研修

【資料】Ⅲ-4-3 職員研修状況

職員研修について、従来は常勤職員のみを受講対象としていたが、現在は非常勤職員にも参加機会を提供している。

平成 28 年度には職員研修のあり方について検討を行い、県内図書館で実施されている研修に積極的に参加することを決定し、令和元年度は佐賀県公共図書館研修会に計 3 回、延べで合計 12 名が参加した。

(2) 財務

1) 予算

【資料】Ⅲ-4-4 図書館経費

令和元年度の配当額は、一般運営経費 66,126 千円、学長経費(電子ジャーナル経費)50,000 千円であった。

本館

令和元年度の当初配分は、47,309 千円である。この中から図書館維持費として 31,784 千円、図書購入費として 15,525 千円を充てた。また、電子ジャーナルの不足分として、科学研究費補助金等の間接経費から 25,000 千円の補填額があった。

医学分館

令和元年度の当初配分額は、18,817 千円である。この中から図書館維持費として 13,317 千円、図書購入費として 5,500 千円を充てた。

なお、医学分館は、法人化時の合意に基づき医学部及び附属病院からも別途図書購入費の配分を受けている。

2) 決算

【資料】Ⅲ-4-4 図書館経費

本館

支出内容を精査し、適切に予算を執行した。

医学分館

支出内容を精査し、適切に予算を執行した。

（３）評価及び課題

１）評価する点

・組織の編成・管理運営

常勤職員のみでなく、非常勤職員にも職員研修への参加機会を提供していることは評価できる。また、非常勤職員も含めて県立図書館等の研修に積極的に参加していることは評価できる。

・財務

限られた予算の中で、教員や関係部署と連携しての選書等、様々なニーズに対応する取り組みを行いながら図書の整備を行ったことは評価できる。

５ 施設・設備

（１）施設・設備の整備状況

１）施設・設備

【資料】Ⅲ-5-1 面積・閲覧座席数・書架収容力、Ⅲ-5-2 図書館利用者用端末台数 Ⅲ-5-3 アクティブ・ラーニング・スペース、Ⅲ-5-4 グループ学習室の設備

図書館総面積は本館 5,332 ㎡、旧館 332 ㎡、医学分館 1,769 ㎡ 合計 7,433 ㎡である。

閲覧座席数は本館 629 席、医学分館 192 席、合計 821 席である。本館（平成元年 3 月竣工）、医学分館（昭和 55 年 3 月竣工）とも竣工後建物及び設備の増築、大規模改修は行っていないが、ともに書架スペース以外の閲覧スペースを利用しやすく、明るい場所に置くなど基本設計において利用者への配慮を行っている。

また、利用者に快適な環境を提供するため、夏季の冷房、冬季の暖房運転の維持と設備、物品の充実を図っている。また全館を徹底した清掃を行い、快適な学修環境を提供することに努めている。

本館では、平成 30 年度に 3 階、4 階のトイレ改修を行い、利用環境を改善した。

安全面では、本館、医学分館とも館内の要所に防犯カメラを設置している。防犯カメラは附属図書館運営委員会が定めた「佐賀大学附属図書館防犯カメラ運用内規」に基づいて運用している。なお、医学分館では、セキュリティ対策として緊急通報ボタンを設置している。

バリアフリー面では、本館・医学分館ともに車椅子対応のためのスロープ及びトイレを設置し、エレベータにはマルチビームドアセンサーを設置している。また、日本語に不慣れな利用者のために、館内サインに日本語と英語を併記し、一部にはピクトサインを採用している。

２）書架・書庫

【資料】Ⅲ-5-1 面積・閲覧座席数・書架収容力

本館、医学分館ともに収蔵力の不足は深刻な問題である。本館では配架できない図書資料を箱詰めにしており、教育・研究を支援する上でかなり支障をきたしているうえ、防災上からも危険であることから、配架スペースの確保のため、計画的な除籍を実施している。

（２）施設、設備等の利用状況

【資料】Ⅲ-5-5 各室使用状況（本館）、Ⅲ-5-6 グループ学習スペース及びグループ学習室 5 入室状況（本館）、Ⅲ-5-7 会議室利用状況（本館）

１）利用者用施設・設備

本館

平成 30 年度に、本館の 3 階、4 階のトイレを改修した。

平成 30 年度から新任教員研修会において図書館利用について説明を行っており、この中で図書館の施設・設備等の紹介を行い、利活用を依頼した。

「学内営繕事業要求書」において、改修等の要望を提出した。

医学分館

「施設整備事業要求書」において、全体改修の要望を提出した。

２）その他の施設・設備

- ・ 会議室（本館 4 階）

本館の会議室は、本庄キャンパスのほぼ中心に位置し、収容人数が 60 人で使いやすい規模の部屋であるため、学内の各種委員会や学部主催の公開講座等で利用されている。

（３）評価及び課題

１）評価する点

- ・ 施設、設備等の利用状況

新任教員研修会で図書館利用についての説明を行い、施設・設備等の紹介を行ったことは評価できる。

２）課題

本館

平成 30 年 2 月に空調配管の水漏れ事故が発生したことをはじめとして、他にも老朽化により改修が必要な箇所が多くみられる。

医学分館

建築後 39 年が経過し、改修の必要な箇所が多くみられる。応急的な改修を行うことと、全体改修に向けて施設整備費の要求を継続していくことが必要である。

資 料

Ⅱ 概要

Ⅱ-1 蔵書数

① 図書

(単位：冊)

年度	本 館			医学分館			合 計
	和	洋	計	和	洋	計	
26	417,698	177,125	594,823	69,706	46,316	116,022	710,845
27	421,356	177,487	598,843	71,195	46,683	117,878	716,721
28	416,531	176,309	592,840	69,290	46,763	116,053	708,893
29	416,902	174,892	591,794	68,521	46,140	114,661	706,455
30	418,859	174,547	593,406	69,167	46,282	115,449	708,855
01	401,244	166,934	568,178	70,007	46,175	116,182	684,360

② 雑誌

(単位：種)

年度	本 館			医学分館			合 計
	和	洋	計	和	洋	計	
26	6,531	2,974	9,505	1,243	1,110	2,353	11,858
27	6,539	2,977	9,516	1,236	1,119	2,355	11,871
28	6,541	2,977	9,518	1,243	1,119	2,362	11,880
29	6,541	2,977	9,518	1,239	1,119	2,358	11,876
30	6,544	2,977	9,521	1,240	1,120	2,360	11,881
01	6,544	2,977	9,521	1,243	1,120	2,363	11,884

③ 視聴覚資料

(単位：タイトル)

年度	本館	医学分館	計
26	1,788	1,748	3,536
27	1,788	1,766	3,554
28	1,788	902	2,690
29	643	783	1,426
30	637	782	1,419
01	638	895	1,533

Ⅱ-2 図書受入冊数

単位：冊

年度	本館	医学分館	計
26	14,178	2,273	16,451
27	13,637	2,237	15,874
28	10,018	1,796	11,814
29	13,762	1,190	14,952
30	11,206	788	11,994
01	7,779	1,386	9,165

Ⅱ-3 雑誌受入種類数

単位：種

年度	本館	医学分館	計
26	3,234	487	3,721
27	3,205	473	3,678
28	3,093	478	3,571
29	2,854	477	3,331
30	2,781	480	3,261
01	2,769	327	3,096

Ⅲ 領域別評価

1 教育支援

Ⅲ-1-1 利用対象者数

単位：人

年度	学生	教職員	計
26	7,081	2,755	9,836
27	7,002	2,704	9,706
28	6,989	2,668	9,657
29	6,910	2,536	9,446
30	6,807	2,502	9,309
01	5,554	1,092	6,646

Ⅲ-1-2 電子書籍導入状況

種類数

単位：タイトル

年度	国内	国外	計
26	1,093	17,272	18,365
27	1,658	17,272	18,930
28	1,756	17,272	19,028
29	1,855	17,272	19,127
30	1,874	17,272	19,146
01	1,874	17,272	19,146

Ⅲ-1-3 電子書籍アクセス数

単位：件

年 度	EBSCOhost Ebook collection	Maruzene-book Library
26	627	748
27	313	585
28	284	582
29	90	469
30	97	607
01	70	1,029

Ⅲ-1-4 図書除籍冊数

単位：冊

年度	本館	医学分館	計
26	4,159	1,417	5,576
27	830	0	830
28	8,902	3,483	12,385
29	5,170	2,525	7,695
30	2,342	0	2,342
01	28,467	644	29,111

Ⅲ-1-5 開館時間

① 本館

学 期	曜 日	時 間	備 考
授業期 (試験期間含む)	月～金曜日	8:30 ～ 21:10	(休館日) 2月,3月,8月の第4木曜日(祝日の場合は開館する) 夏季一斉休業日 年末年始
	土曜日・日曜日・祝日	10:00 ～ 19:00	
休業期 (授業期以外)	月～金曜日	8:30 ～ 20:10	
	土曜日・日曜日・祝日	10:00 ～ 19:00	

② 医学分館

曜 日	早朝(無人開館)	有人開館	備 考
月～金曜日	6:00～8:30	8:30 ～ 21:00	(休館日) 夏季一斉休業日 年末年始
土曜日・日曜日・祝日	閉館	10:30 ～ 18:30	早朝開館は事前に登録申請した学内所属の教職員及び学生のみ利用可能

Ⅲ-1-6 年間開館日数等

① 本館

年度	開館日数(日)				開館時間数(時間)		
	平日	土曜	休日	計	時間内	時間外	計
26	235	47	62	344	1,997	1,896	3,893
27	215	44	60	319	1,828	1,767	3,595
28	237	46	63	346	2,015	1,864	3,879
29	236	46	60	342	2,006	1,855	3,861
30	236	47	63	346	2,015	1,864	3,879
01	219	43	59	321	1,862	1,765	3,627

(注) H28. 4. 16～24 の期間は、熊本地震の余波を考慮して 17:00 で閉館。

② 医学分館

年度	開館日数(日)				開館時間数(時間)		
	平日	土曜	休日	計	時間内	時間外	計
26	244	45	56	345	2,074	1,784	3,858
27	242	46	61	349	2,048	1,824	3,872
28	240	46	63	349	2,100	2,402	4,502
29	240	48	58	346	3,061	2,573	4,634
30	241	45	61	347	2,051	2,912	4,963
01	224	43	60	327	1,905	2,807	4,712

(注) H28(10月11日以降の平日のみ)は、時間外開館時間は夜間の無人開館時間を含む。

Ⅲ-1-7 入館者数

① 本館

年度	開館日数（日）	時間内（人）	時間外（人）	合 計（人）	1 日平均（人）
26	344	193,879	102,248	296,127	861
27	319	176,217	93,988	270,205	847
28	346	176,097	88,414	264,511	764
29	342	187,661	92,688	280,349	820
30	346	172,779	89,802	262,581	759
01	321	145,371	80,896	226,267	705

② 医学分館

年度	開館日数（日）	時間内（人）	時間外（人）	合 計（人）	1 日平均（人）
26	345	109,863	59,860	169,723	492
27	349	117,796	108,991	226,787	650
28	349	116,527	62,770	179,297	514
29	346	126,206	64,160	190,366	550
30	347	142,660	71,087	213,747	616
01	327	126,941	66,958	193,899	593

Ⅲ-1-8 貸出条件

① 本館

種 類		対 象	期 間	冊 数
個人貸出	学内利用者	学部学生 研究生・科目等履修生等	図書：2 週間 雑誌：1 週間	図書(雑誌を含む。) 10 冊
		大学院生 教職員・名誉教授等	図書：4 週間 雑誌：1 週間	図書(雑誌を含む。) 10 冊
	学外利用者		図書：2 週間 雑誌：1 週間	図書(雑誌を含む。) 5 冊
研究室貸出		教員	1 年間更新可 (自動更新) *	当該予算で購入したもので必要とする冊数
特別貸出	休業期	学内利用者	休業期間終了日の 1 週間後まで	個人貸出と同条件
	卒論等	学部学生・大学院生	8 週間	図書 5 冊
	実習	学部学生	実習期間内	図書 5 冊

② 医学分館

種 類		対 象	期 間	冊 数
個人貸出		学生・教職員等学内利用者	2 週間	図書 5 冊
			3 日	小池文庫 3 冊
			3 日	雑誌 3 冊
			3 日	視聴覚資料 3 点
		学外利用者	2 週間	図書 3 冊 (教養図書に限る)
研究室貸出		教員	1 年 間 更 新 可 (自動更新) *	当該予算で購入したもので必要とする冊数
特別貸出	休業期	学生等	休業期間終了日の翌日まで	図書 3 冊

* 貸出期間については、当該教（職）員による返却の申し出がない限り自動更新とする。

Ⅲ-1-9 館外貸出状況

① 本館

年度	貸出者数（人）				貸出冊数（冊）			
	学生	教職員	一般	計	学生	教職員	一般	計
26	20,145	1,364	678	22,187	36,996	3,022	1,880	41,898
27	19,994	1,134	651	21,799	36,760	2,444	1,828	41,032
28	14,800	1,109	539	16,448	28,190	2,381	1,294	31,865
29	13,820	950	526	15,296	26,873	2,164	1,526	30,563
30	13,424	948	659	15,031	27,206	2,213	1,822	31,241
01	13,668	1,114	481	15,263	25,559	2,660	1,356	29,575

② 医学分館

年度	貸出者数（人）				貸出冊数（冊）			
	学生	教職員	一般	計	学生	教職員	一般	計
26	7,633	1,176	28	8,837	10,690	2,920	49	13,659
27	10,134	1,851	39	12,024	11,683	3,240	41	14,964
28	7,952	1,395	30	9,377	12,089	2,911	116	15,116
29	6,388	1,447	32	7,867	10,385	3,968	70	14,353
30	6,286	1,366	10	7,662	11,190	3,054	206	14,450
01	4,343	1,131	24	5,498	7,391	2,479	219	10,089

Ⅲ-1-10 オリエンテーション実績（本館）

年度	初級コース		中級コース	
	回数（回）	人数（人）	回数（回）	人数（人）
26	31	860	10	191
27	33	929	12	195
28	26	924	12	213
29	27	928	13	207
30	29	1,015	5	54
01	33	1,023	7	170

Ⅲ-1-11 図書館間相互貸借冊数

単位：冊

年度	本館		医学分館	
	借受	貸出	借受	貸出
26	255	143	50	54
27	203	185	16	8
28	139	175	10	10
29	141	198	8	13
30	166	115	5	10
01	113	107	3	11

Ⅲ-1-12 図書館間の文献複写件数

単位：件

年度	本 館		医学分館	
	依 頼	受 付	依 頼	受 付
26	1,078	331	1,519	1,435
27	916	384	1,413	1,048
28	696	250	1,364	955
29	585	124	1,097	875
30	522	157	933	651
01	501	147	1,066	629

Ⅲ-1-13 図書館Web ページのアクセス数

年度	アクセス数（回）	デバイス別アクセス割合（％）	
		PC	mobile, tablet
26	118,974	76	24
27	122,175	71	29
28	99,119	63	37
29	90,878	60	40
30	87,177	54	46
01	74,023	51	49

2 研究支援

Ⅲ-2-1 電子ジャーナル導入状況

① 購入パッケージ

年 度	Elsevier Science Direct	Springer LINK	Wiley	Nature	EBSCO
26	○	○	○	○	
27	○	○	○	○	
28	○	○		○	○
29	○	○		○	○
30	○	○		○	
01	○	○		○	

② 種類数

年度	種類数（種）
26	11,884
27	12,045
28	10,704
29	10,238
30	5,398
01	5,378

Ⅲ-2-2 電子ジャーナルアクセス数

年 度	Elsevier Science Direct	Springer LINK	Wiley	Nature	EBSCO
26	94,272	16,867	28,560	2,994	
27	100,463	17,343	28,854	2,392	
28	110,878	18,583		2,786	2,092
29	115,575	18,937		2,824	1,172
30	112,041	22,012		3,707	
01	95,100	18,825		4,918	

Ⅲ-2-3 文献等データベースサービス

国 内		国 外	
名称	利用数（件）	名称	利用数（件）
聞蔵Ⅱビジュアル	1,239	日経 BP 記事検索サービス*	2,393
ヨミダス歴史館	2,184	Scopus	26,458
日経テレコン 21	78,241	Ovid (MEDLINE、EBMR)	6,237
ジャパンナレッジ・プラス N	2,966	CINAHL	209
医中誌 Web	63,226	UpToDate	3,355

* 本文では電子ジャーナル種として集計しているもの

Ⅲ-2-4 佐賀大学機関リポジトリ登録数及び閲覧数(令和 01 年度)

単位：件

コンテンツの種類	登録数		閲覧数	
	一次情報	二次情報	アクセス数	ダウンロード数
紀要論文	3,554	7,687	436,931	348,448
博士論文	317	1,813	65,814	55,093
雑誌論文 他	510	1,637	13,567	7,874
合 計	4,381	11,137	516,312	411,415

社会貢献

Ⅲ-3-1 市民への貸出状況

年度	本 館		医学分館	
	貸出者数（人）	貸出冊数（冊）	貸出者数（人）	貸出冊数（冊）
26	678	1,880	28	49
27	651	1,828	39	41
28	539	1,294	30	38
29	526	1,526	32	70
30	659	1,822	10	206
01	481	1,356	24	219

Ⅲ-3-2 図書館月間 講演会

年度	演 題	講 師
26	有田磁器の創始と発展 ―400年の歴史をたどる―	大橋康二 (元佐賀県立九州陶磁文化館館長)
27	日本電信の祖 石丸安世	多久島澄子 (幕末佐賀研究会会員)
	佐賀藩と電信機	長野 暹 (佐賀大学名誉教授)

28	大学発オリジナル清酒「悠々知酔」を学生が考え、そして醸す！	小林元太 (佐賀大学農学部教授)
	国産初のグレープフルーツ「さがんルビー」の育成と産地形成	駒井史訓 (佐賀大学農学部附属アグリ創生教育研究センター教授)
	大学の技術開発を活用した農業ビジネス展開について	永原辰哉 (株式会社農研堂代表取締役)
29	幕末佐賀藩を支えたもの	伊藤昭弘 (佐賀大学地域学歴史文化研究センター副センター長・准教授)
	新政府と佐賀藩	三ツ松誠 (佐賀大学地域学歴史文化研究センター講師)
30	小城藩の蔵書を充実させた夭折の天才―鍋島直嵩	白石良夫 (元佐賀大学教授)
	小城藩主がもっていた『十帖源氏』著者書入本	中尾友香梨 (佐賀大学全学教育機構准教授)

Ⅲ-3-3 図書館月間展示会

年度	展示名	展示内容
26	有田焼関連図書	講演会「有田磁器の創始と発展 ―400年の歴史をたどる―」に合わせて、書籍を展示した。
27	幕末佐賀藩の科学技術に関する資料	講演会「日本電信の祖 石丸安世」及び「佐賀藩と電信機」に合わせ、資料・書籍を展示した。
28	佐賀大学生まれの食品に関する資料	佐賀大学で研究・開発した食品から生まれた製品、関連資料等を展示した。
29	小城鍋島文庫、市場直次郎コレクションから講演内容に関する資料	講演会「幕末佐賀藩を支えたもの」及び「新政府と佐賀藩」に合わせ、資料・書籍を展示した。
30	小城鍋島文庫から講演内容に関する資料	講演会「小城藩の蔵書を充実させた夭折の天才―鍋島直嵩」及び「小城藩主がもっていた『十帖源氏』著者書入本」に合わせ、資料・書籍を展示した。
01	旧制佐賀高校・師範学校アーカイブズ～佐賀大学のルーツを知る～	旧制佐賀高校・師範学校で使用されていた資料、図書を展示した。

Ⅲ-3-4 附属図書館所蔵コレクション

	コレクション名	内 容
地域資料コレクション	小城鍋島文庫	佐賀鍋島の支藩、小城的の鍋島家に伝えられた貴重な図書・文書で、当主鍋島直浩氏のご厚意と西島製作所原田龍平氏のご配慮により、昭和 35 年に寄贈され、昭和 38 年には小城町教育委員会から小城鍋島家旧蔵漢籍が寄贈されたもので、1 万点を超える国書、漢籍、歴史史料からなる。
	唐津藩庄屋文書	唐津藩の庄屋史料を中心に地方（じかた）文書を含む約 1,000 点の近世中・後期から明治にかけての庄屋史料である。
	深江文書	深江家に伝わる美濃派俳諧の資料で、深江汨央氏より平成 5 年に寄贈されたものであり、江戸中期から明治初期に佐賀で編まれた 49 点の俳書である。
	江藤新平関係文書	明治維新の政治家、江藤新平に関する資料をマイクロフィルム化したもので、佐賀県立図書館に所蔵されている 1,400 点余の資料と、江藤家に秘蔵されていた未公開資料 130 点を含んでいる。明治初期の政治・法制成立課程の研究や江藤研究の貴重な資料である。
	佐賀地方裁判所資	佐賀地方裁判所より、平成 11 年に寄贈を受けたもので、明治初期から昭和初期に至る

	料	までの裁判制度に関する資料であり、佐賀地方に限定されているとはいえ、明治初期から昭和初期までの地方における裁判の全体像を知ることができる貴重な資料である。
	市場直次郎コレクション	佐賀や北九州の近世文学・民俗学研究で知られた故市場直次郎氏が蒐集した、扇面・色紙・和書・掛軸等 1,900 点余のコレクションを 3 期にわたって購入した。コレクション中、近世の文人が描いた書画の扇面は 502 点にも及び、全国でも他に例がないものである。 (第 1 期分のみ文部科学省大型コレクション経費 平成 13 年度採択)
	洋学資料コレクション	我が国洋学発達史上、学術的価値のある資料である。 「和蘭字彙」、「草木花実写真図」、「西遊旅譚」、「蘭学逡」、「和蘭産物考」、「蘭学階梯」、「和蘭菓鏡」 (岡本基金-教育研究助成奨学寄附金)
	大内文庫	平成 15 年 9 月に亡くなられた、鹿児島大学名誉教授・文学博士、大内初夫氏が収集された俳諧書類で、江戸時代(元禄期)から明治中期にかけての俳諧書 2 9 8 点 4 4 5 冊、俳諧書複製本 2 3 点、軸物 18 点、器財(文台) 1 点を内容とする。 (岡本基金-教育研究助成奨学寄附金)
	佐賀新聞DVD	明治 17 年の創刊号から平成 19 年までの記事を図書館内の専用パソコンで見ることができ、日付検索の機能を持ち、紙面全体や個別の記事を表示、印刷することができる。 (学長経費-予備費)
研究用コレクション	東寺百合文書	東京大学史料編纂所が京都教王護国寺(通称東寺)旧蔵文書の影写本をマイクロフィルム化したもの。文書には、鎌倉・室町時代の東寺関係諸記録約 1,000 点を含み、東寺の寺院経営や寺院の荘園に関する寺院経済関係の記録が豊富である。 (文部科学省大型コレクション経費 昭和 56 年度採択)
	バイルシュタイン有機化学全書	Beilsteins Handbuch der Organischen Chemie. 炭素化合物の物理的、化学的諸特性に関する百科事典 (文部科学省大型コレクション経費 昭和 62 年度採択)
	国立国会図書館所蔵 明治期産業翻訳書集成	明治期のお雇い外国人官僚技術者、知識人の外国事情、学術研究書などの翻訳と報告をマイクロフィルム化したもの。万国博覧会編、農業編、工業編、産業史編に分かれている。 (文部科学省大型コレクション経費 平成元年度採択)
	1990 世界農林業センサス農業集落カード	農業の国勢調査ともいえるべき農林業センサスの調査結果の一つで、農村地域の最小単位である全国約 13 万 4 千の農業集落について調査結果を整理統合した資料。 (文部科学省大型コレクション経費 平成元年度採択)

Ⅲ-3-5 貴重資料の利用

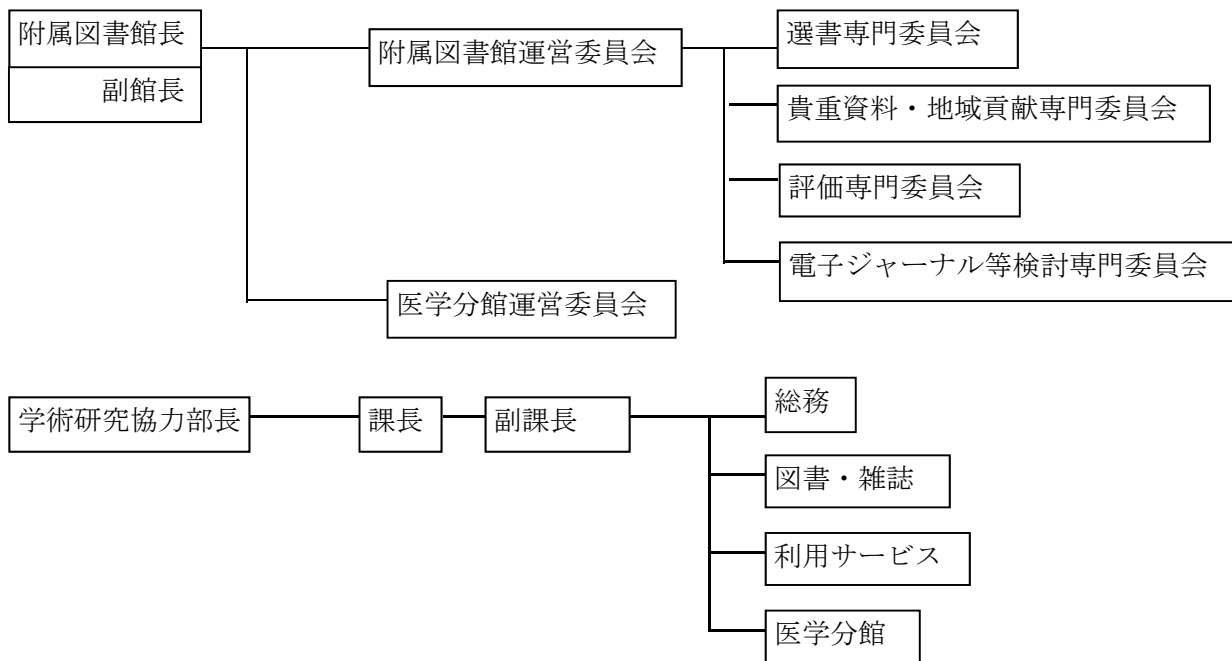
年度	展 示 名	展 示 内 容
26	①図録「小城城下と牛津宿」出版 ②小城城下と牛津宿—小城藩政の展開と人びとの経済活動 ③実録『火城』伝～幕末佐賀のテクノクラート～ ④医学のあけぼのから先端医療まで	①小城鍋島文庫から「直能公御年譜 6」ほか 26 点 ②小城鍋島文庫から「直能公御年譜 6」ほか 8 点 ③小城鍋島文庫から「遠西奇器述」 ④小城鍋島文庫から「和漢三才図会」
27	①小城鍋島藩と島原の乱 ②小城祇園祭—千葉・鍋島から現代へ ③花鳥風月に遊ぶ—近世の絵師と歌人	①小城鍋島文庫から「元茂公御年譜」ほか 6 点 ②小城鍋島文庫から「小城祇園祭旧記」ほか 12 点、市場直次郎コレクションから「和歌(今泉蟹守)」 ③市場直次郎コレクションから「扇面(与謝蕪村)」ほか 30 点
28	①「幕末維新期の小城」(平成 28 年 7 月 15 日(金)～ 8 月 10 日(水)) 於：佐賀大学美術館、佐賀大学菊楠シュライバー館) ②「花守と介次郎：明治を担った小城の人びと」(平成 28 年 10 月 22 日(土)～ 12 月 4 日(日)) 於：小城市立歴史資料館	①小城鍋島文庫から「小城藩日記 元治元年」ほか 7 点 ②市場直次郎コレクションから「楠公像」、小城鍋島文庫から「柴田介次郎上海談聞書」「聞書」「村崎ト斎覚書他」「小城藩日記」「旧約聖書・新約聖書」、旧制佐高図書から「開国五十年史」
29	①「地域の文化財群としての小城鍋	①小城鍋島文庫から「近代公実厳秘録」ほか 20 点

	島文庫蔵書」(平成29年4月28日(金)～5月14日(日) 於:佐賀大学美術館) ②「鍋島元茂一父を支え、小城を領す」(平成29年10月28日(土)～12月10日(日) 於:小城市立歴史資料館) ③「明治150年 鍋島茂昌と羽州戦争」(平成29年11月18日(土)～12月17日(日) 於:武雄市図書館・歴史資料館) ④「誕生200年記念 沖冠岳と江戸絵画展」(平成30年1月20日(土)～3月25日(日) 於:愛媛県美術館)	②小城鍋島文庫から「直茂公御年譜」ほか7点 ③小城鍋島文庫から「奥州国郡分色地図」 ④市場直次郎コレクションから「武士図」
30	①「佐賀大学所蔵名品展「幕末の佐賀と学問ー維新への道ー」」(平成30年7月13日(金)～8月10日(金) 於:佐賀大学美術館) ②明治維新150年企画展「緒方洪庵と佐野常民～唯おのれをすてて、人を救はんことを希ふべし～」(平成30年11月3日(土)～12月16日(日) 於:佐賀市佐野常民記念館) ③「千葉の城・鍋島の城ー小城武士の本拠を探る」(平成30年11月2日(金)～12月16日(日) 於:小城市立歴史資料館) ④「佐賀藩10代藩主 鍋島直正展」(平成31年1月4日(金)～2月9日(土) 於:佐賀大学美術館)	①小城鍋島文庫から「柴田介次郎上海談聞書」ほか7点 市場直次郎コレクションから「落雁図」ほか29点 ②小城鍋島文庫から「大庭雪斎コレクション和蘭文典・上下」 ③小城鍋島文庫から「肥陽軍記」ほか6点 ④市場直次郎コレクションから「古川松根和歌短冊」ほか3点
01	①「佐賀の近代日本画」(令和元年5月1日(水)～6月23日(日) 於:佐賀大学美術館) ②「鍋島元茂一父を支え、小城を領す」(令和元年7月5日(金)～7月15日(月) 於:佐賀大学美術館) ③「京の雅と小城藩」(令和元年10月26日(土)～12月8日(日) 於:小城市立歴史資料館)	①市場直次郎コレクションから「古川松根大黒天図」ほか2点 ②小城鍋島文庫から「鍋島直茂書状」ほか5点 ③小城鍋島文庫から「直能公御年譜」ほか40点

4 組織運営

Ⅲ-4-1 附属図書館組織・機構図

平成 31 年 4 月



Ⅲ-4-2 附属図書館職員数

(5月1日現在) 単位：人

年度	本 館			医学分館			合 計		
	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計
26	10(7)	8(4)	18(11)	2(2)	5(3)	7(5)	12(9)	13(7)	25(16)
27	9(6)	8(5)	17(11)	2(2)	3(2)	5(4)	11(8)	11(7)	22(15)
28	9(5)	8(6)	17(11)	2(2)	3(1)	5(3)	11(7)	11(7)	22(14)
29	8(4)	8(6)	16(10)	2(2)	3(1)	5(3)	10(6)	11(7)	21(13)
30	8(4)	8(6)	16(10)	2(2)	3(1)	5(3)	10(6)	11(7)	21(13)
01	9(6)	8(6)	17(11)	1(0)	3(1)	4(1)	10(6)	11(7)	21(13)

(注) () 書は司書数で内数

Ⅲ-4-3 職員研修状況

年度	研 修 名	場 所	人数(人)
26	目録システム地域講演会(雑誌コース)	山口市	2
	九州地区事務情報化推進要員スキルアップ研修	福岡市	1
	大学図書館職員研修会	福岡市	2
	九州地区医学図書館員セミナー	福岡市	1
	佐賀大学情報化要員養成研修(EXCEL)	佐賀市	4
	佐賀大学係長ステップアップ研修	佐賀市	2
	佐賀大学接遇・苦情クレーム対応研修	佐賀市	5
27	大学図書館職員長期研修会	筑波市	1
	学術情報セミナーIN 福岡	福岡市	1
	北部地区研究会目録講習会	北九州市	1
	中国・四国・九州地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー	鹿児島市	1
	九州地区国立大学法人等テーマ別研修会	長崎市	1

27	九州地区国立学校会計事務研修	熊本市	1
	九州地区医学図書館員セミナー	沖縄県中頭	1
	九州地区国立大学図書館協会館員館職員研修 WG	福岡市	1
	佐賀大学係長研修	佐賀市	1
	佐賀大学簿記研修	佐賀市	3
	佐賀大学評価者研修及び評価制度研修	佐賀市	1
	佐賀大学情報システム統一研修	佐賀市	2
28	佐賀県公共図書館職員研修会（第1回）	佐賀市	1
	佐賀大学情報システム統一研修（7月～9月）	佐賀市	6
	機関リポジトリ新任担当者研修	長崎市	1
	九州地区国立大学法人等係長研修	宮崎市	1
	佐賀大学係長ステップアップ研修	佐賀市	1
	大学図書館職員短期研修会	京都市	1
	佐賀大学情報システム統一研修（10月～12月）	佐賀市	2
	九州地区国立学校会計事務研修	大分市	1
	九州地区国立大学図書館協会館員館職員研修WG	福岡市	1
	国立大学図書館協会シンポジウム	福岡市	2
	佐賀大学接遇・マナー研修	佐賀市	1
29	佐賀大学評価者研修	佐賀市	1
	佐賀大学苦情クレーム対応研修	佐賀市	2
	佐賀大学中堅職員ステップアップ研修	佐賀市	1
	佐賀大学幹部職員（課長級）研修	佐賀市	1
	佐賀県公共図書館職員研修会	佐賀市	5
	佐賀大学情報システム統一研修（4月～6月）	佐賀市	1
	管理監督者・労務担当者講習会	小城市	1
	九州地区国立大学図書館協会会員館職員研修WG	福岡市	1
	学術情報ソリューションセミナー2017 in FUKUOKA	福岡市	2
	中国・四国・九州地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー	鳥取市	1
	九州地区国立大学法人等テーマ別研修会	鹿児島市	1
	IIIF ワークショップ in 九州	福岡市	1
	国立大学図書館協会地区協会助成事業九州地区事業による研修会	熊本市	1
	国立大学図書館協会地区協会助成事業ワークショップ	岡山市	1
30	佐賀大学新採用職員（事務職員）研修	佐賀市	1
	佐賀大学評価制度研修	佐賀市	1
	新規採用職員就業規則等研修	佐賀市	2
	佐賀大学中堅職員研修	佐賀市	1
	共同利用拠点研修会	佐賀市	1
	佐賀県公共図書館職員研修会	佐賀市	4
	九州地区医学図書館員セミナー	北九州市	1
	国立大学図書館協会近畿地区助成事業による研修会	京都市	2
	国立大学図書館協会九州地区助成事業ワークショップ	鹿児島市	2
	丸善雄松堂アカデミックセミナー2018	福岡市	1
	学術情報ソリューションセミナー2018 in FUKUOKA	福岡市	2
01	佐賀大学新採用職員（事務職員）研修	佐賀市	3
	中国・四国・九州地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー	福岡市	1
	九州地区国立学校会計事務研修	福岡市	1
	九州地区医学図書館員セミナー	熊本市	2
	佐賀県公共図書館職員研修会	佐賀市	12
	資料保存研修会	佐賀市	25

	九州地区目録講習会	鹿児島市	1
	佐賀大学評価者研修及び評価制度研修	佐賀市	3
	佐賀大学フォローアップ研修	佐賀市	1
	九州地区国立大学法人等テーマ別研修	佐賀市	1

Ⅲ-4-4 図書館経費

① 本館予算

単位：千円

年度	図書館維持費	図書購入費		計
		図書購入費	学長経費等 (電子ジャーナル経費)	
26	37,247	20,379	75,000	132,626
27	36,516	20,177	75,000	131,693
28	35,342	15,025	75,000	125,367
29	36,905	16,525	75,000	128,430
30	31,780	16,525	75,000	123,305
01	31,784	15,525	75,000	122,309

(注1) 平成26年度は電子ジャーナル整備費として学長経費 50,000 千円プラス 25,000 千円(科研費補助金間接経費及びその他補助金間接経費)を計上した。

図書費として 20,379 千円を計上した。

(注2) 平成27年度は電子ジャーナル整備費として学長経費 50,000 千円プラス 25,000 千円(科研費補助金間接経費及びその他補助金間接経費)を計上した。

図書費として 20,177 千円を計上した。

(注3) 平成28年度は電子ジャーナル整備費として学長経費 50,000 千円プラス 25,000 千円(科研費補助金間接経費及びその他補助金間接経費)を計上した。

図書費として 15,025 千円を計上した。

(注4) 平成29年度は電子ジャーナル整備費として学長経費 50,000 千円プラス 25,000 千円(科研費補助金間接経費及びその他補助金間接経費)を計上した。

図書費として 16,525 千円を計上した。

(注5) 平成30年度から施設維持費等が一元管理となり部局等への予算配分がなくなった。

(注6) 令和元年度は電子ジャーナル整備費として学長経費 50,000 千円プラス 25,000 千円(科研費補助金間接経費及びその他補助金間接経費)を計上した。

② 本館決算

単位：千円

年度	図書館維持費	図書購入費		計
		図書購入費	学長経費等 (電子ジャーナル経費)	
26	40,272	20,379	85,665	146,316
27	33,723	20,102	84,217	138,042
28	35,346	15,024	71,568	121,938
29	36,900	15,902	72,015	124,817
30	30,855	16,522	72,212	119,589
01	31,582	15,519	74,324	121,425

③ 医学分館予算

単位：千円

年度	図書館維持費	図書購入費		計
		図書購入費	医学部経費	
26	16,178	7,301	30,168	53,647
27	15,378	7,226	33,987	56,591
28	15,725	6,000	57,210	78,935
29	14,162	4,500	46,225	64,887

30	13,666	4,500	39,865	58,031
01	13,317	5,500	42,649	61,466

④ 医学分館決算

単位：千円

年度	図書館維持費	図書購入費	計
26	14,398	47,762	62,160
27	13,255	52,614	65,869
28	16,991	50,757	67,748
29	13,862	45,423	59,285
30	14,146	44,155	58,301
01	13,191	46,934	60,126

※医学分館の予算・決算は、附属図書館の決算書の医学分館及び医学部経費の合計
平成28年度では、図書購入費を一部設備品購入に充当した。

5 施設・設備

Ⅲ-5-1 面積・閲覧座席数・書架収容力

①面積

単位：㎡

	サービススペース					管理スペース				合 計
	閱 覧	視聴覚	情報端末	その他	計	書庫	事務	その他	計	
本 館	699	30	150	1,167	2,046	775	357	2,486	3,618	5,664
分 館	495	56	36	203	790	583	186	210	979	1,769
合 計	1,194	86	186	1,370	2,836	1,358	543	2,696	4,597	7,433

② 閲覧座席数

単位：席

	1 階	2 階	3 階	合 計
本 館	269	97	263	629
分 館	88	104	—	192
合 計	357	201	263	821

③ 書架収容力

	棚板延長 (m)	収容可能冊数 (冊)	書架配架冊数 (冊)	収蔵率 (%)
本 館	16,680	463,333	454,542	98
分 館	4,231	117,528	116,182	99
合 計	20,911	580,861	570,724	98

Ⅲ-5-2 図書館利用者用端末台数

単位：台

	据置き	貸出し	計
本館	74	0	74
医学分館	62	0	62
計	136	0	136

Ⅲ-5-3 アクティブ・ラーニング・スペース

(5月1日現在)

	面積 (㎡)	運営体制 (人)			
		職員 (図書館)	職員 (図書館以外)	教員	学生スタッフ
本館	750	3	0	0	0
医学分館	36	2	0	0	0
計	786	5	0	0	0

Ⅲ-5-4 グループ学習室の設備

① 本館

	座席数	設備
グループ学習室 1	16 席(予備 3 席)	プロジェクター、スクリーン、大型ディスプレイ ホワイトボード
グループ学習室 2	12 席(予備 8 席)	
グループ学習室 3	24 席	
グループ学習室 4	18 席	大型テレビ (ディスプレイとして使用可) BD/DVD/VHS プレイヤー、ホワイトボード
グループ学習室 5	22 席	大型ディスプレイ、ホワイトボード

② 医学分館

	座席数	設備
ビデオスライド室 1	12 席	プロジェクター用スクリーン、テレビモニター 顕微鏡、DVD・VHS プレイヤー、ホワイトボード
ビデオスライド室 2	4 席	テレビモニター、顕微鏡、DVD・VHS プレイヤー ホワイトボード

Ⅲ-5-5 各室使用状況(本館)

年度	グループ学習室予約 (回)	閲覧個室 (人)
26	2,112	611
27	1,751	225
28	1,626	360
29	2,091	211
30	2,504	223
01	2,498	98

Ⅲ-5-6 グループ学習スペース及びグループ学習室 5 入室状況(本館)

年度	グループ学習スペース入室者数 (人)	グループ学習室 5 入室者数 (人)
29	69,514	35,464
30	57,585	64,783
01	64,799	46,179

Ⅲ-5-7 会議室利用状況(本館)

年度	回数 (回)	時間 (時間)
26	138	630
27	134	516
28	60	272
29	71	277
30	93	344
01	105	423